

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 22日

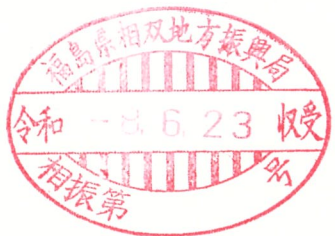
福島県知事 殿

提出者

住 所 福島県南相馬市原町区
小浜字狐沢1番地
氏 名 大内新興化学工業株式会社原町工場
理事工場長 佐藤 丈倫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0244-22-2136



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大内新興化学工業株式会社 原町工場
事業場の所在地	福島県南相馬市原町区小浜字狐沢1番地
計画期間	令和8年4月 ～ 令和9年3月

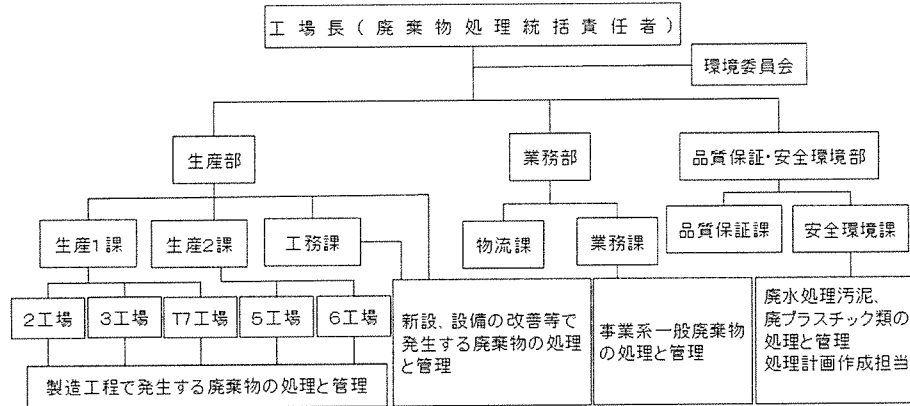
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：その他の有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 36 億円
③ 従業員数	100人（正社員 90人、常勤関係職員 10人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり（別紙①）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排出量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり（別紙②）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	排出量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり（別紙②）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥（排水処理）	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	340 t	- t
	（これまでに実施した取組） 有機汚泥の可溶化処理を実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥（排水処理）	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	6,000 t	- t
	（今後実施する予定の取組） 再生利用出来そうなものがあれば随時実施していく。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥（排水処理）	無機汚泥（排水処理）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	3866.9 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機汚泥（排水処理）	無機汚泥（排水処理）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	4,000 t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 令和年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり（別紙③）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	-	-
	全 処 理 委 託 量_	- t	- t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり（別紙③）		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成

工

事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの
一の連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

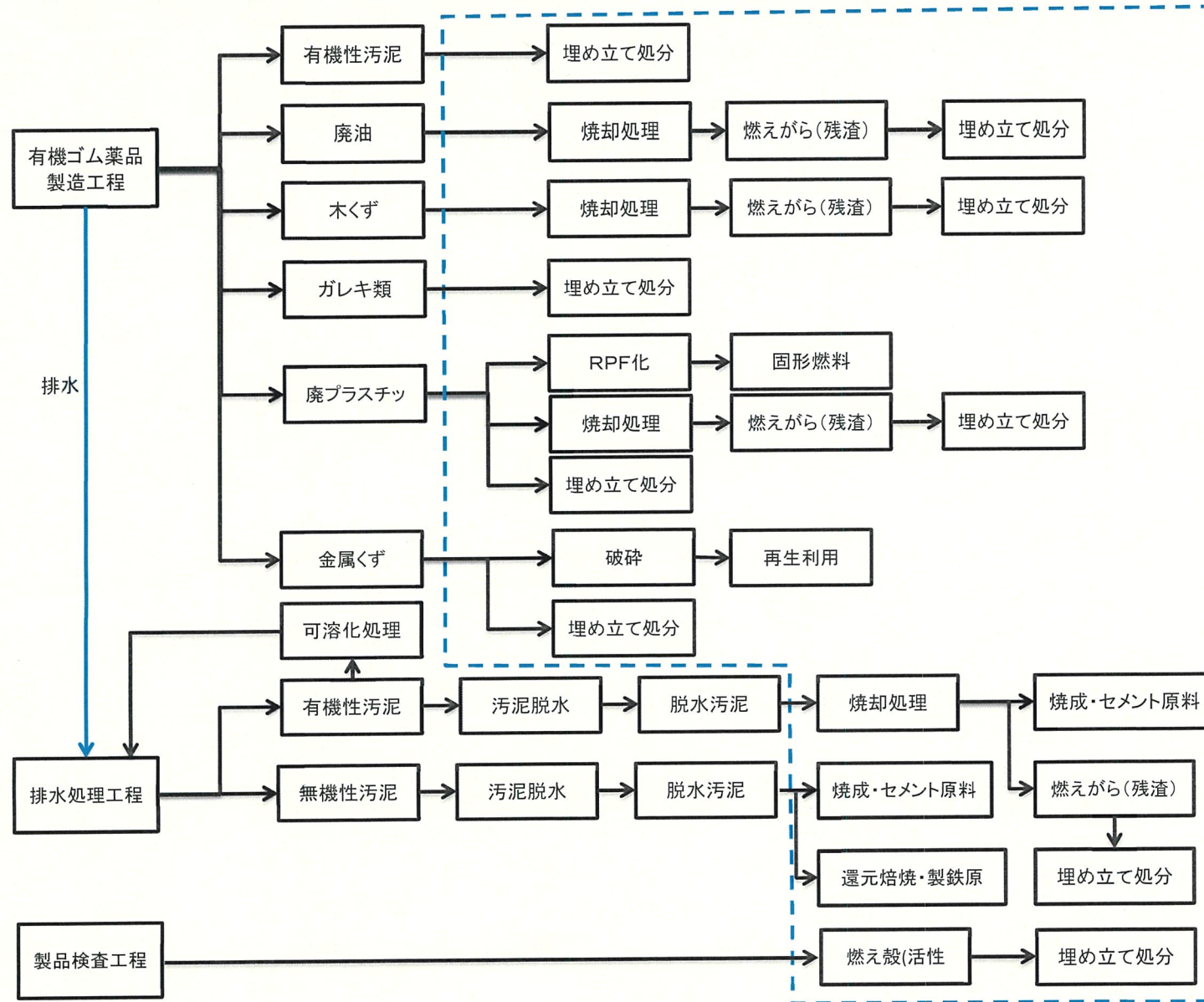
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①
産業廃棄物の一連の処理の工程

→ 廃棄物の流れ

委託処理部分の範囲



別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	【前年度（令和6年度）実績】 単位（t）												
①現状	廃棄物の種類	有機汚泥 (排水処理)	無機汚泥 (排水処理)	有機汚泥 (生産工程)	廃プラスチック類	木くず	廃油	がれき類	硝子類	燃え殻	水銀使用 製品廃棄物	金属くず	合計
	排出量	340.0	4,443.1	511.9	24.8	8.2	6.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	5,334.5
	（これまでに実施した取組）												
	排水処理汚泥：排水処理方法の検討や汚泥減容化設備導入の検討等を行った。												
	生産工程から発生する汚泥：有効成分の回収率向上の検討等を行っている。												
	【目標】 単位（t）												
②計画	廃棄物の種類	有機汚泥 (排水処理)	無機汚泥 (排水処理)	有機汚泥 (生産工程)	廃プラスチック類	木くず	廃油	がれき類	硝子類	燃え殻	廃水銀等	金属くず	合計
	排出量	6,000.0	4,500.0	550.0	25.0	10.0	10.0	1.0	1.0	0.7	0.1	1.0	11,098.8
	（今後実施する予定の取組）												
	排水処理汚泥：引き続き処理方法の検討等を行う。												
	生産工程から発生する汚泥：引き続き有効成分の回収率向上の検討等を行っていく。												
	その他：発生を抑制する方法を検討する。												

別紙③

産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	【前年度（令和6年度）実績】 単位（t）												
①現状	廃棄物の種類	有機汚泥 （排水処理）	無機汚泥 （排水処理）	有機汚泥 （生産工程）	廃プラスチック類	木くず	廃油	がれき類	硝子類	燃え殻	廃水銀等	金属くず	合計
	全処理委託量	0.0	576.2	511.9	24.8	8.2	9.7	0.0	0.0	0.4	0.00	0.0	1,131.3
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	346.8	505.6	24.8	8.2	9.7	0.0	0.0	0.4	0.00	0.0	895.5
	再生利用業者への処理委託量	0.0	576.2	13.7	13.3	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	613.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者への委託を推進し、廃棄物のリサイクル率の向上を図っている。												
	【目標】 単位（t）												
②計画	廃棄物の種類	有機汚泥 （排水処理）	無機汚泥 （排水処理）	有機汚泥 （生産工程）	廃プラスチック類	木くず	廃油	がれき類	硝子類	燃え殻	廃水銀等	金属くず	合計
	全処理委託量	0.0	600.0	550.0	25.0	10.0	10.0	1.0	1.0	0.7	0.1	1.0	1,198.8
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	400.0	550.0	25.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.7	0.1	1.0	996.8
	再生利用業者への処理委託量	0.0	600.0	55.0	12.5	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	678.6
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、再生利用業者への委託を推進していく。												